



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エフ・ジー・ネクスト

コード番号 8935 URL http://www.fjnext.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 幸春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 兼 業務部長 (氏名) 山本 辰美 TEL 03-6733-7711

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 19,771 | 10.7 | 1,833 | 16.5 | 1,841 | 17.8 | 1,180 | 25.5 |
| 27年3月期第2四半期 | 17,863 | 13.5 | 1,574 | △5.4 | 1,564 | △4.6 | 940 | △35.7 |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,165百万円 (22.6%) 27年3月期第2四半期 950百万円 (△34.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 34.74 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 27.53 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 47,414 | 28,670 | 60.5 | 843.84 |
| 27年3月期 | 44,356 | 27,708 | 62.5 | 815.54 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 28,670百万円 27年3月期 27,708百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 6.00 | — | 6.00 | 12.00 |
| 28年3月期 | — | 7.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 7.00 | 14.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 49,500 | 23.3 | 5,000 | 7.8 | 5,000 | 8.1 | 3,000 | 2.9 | 88.30 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期2Q | 34,646,500株 | 27年3月期 | 34,646,500株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 670,857株 | 27年3月期 | 670,857株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期2Q | 33,975,643株 | 27年3月期2Q | 34,164,969株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済をはじめとする海外景気の減速や金融資本市場の変動が懸念されるものの、政府による各種政策の効果을背景とした雇用や所得環境の改善等により、緩やかな景気回復基調が継続しております。

不動産業界におきましては、デベロッパー各社による供給調整もあり、平成27年度上半期（4～9月）の首都圏におけるマンションの新規供給戸数は前年同期比4.2%減の1万9,109戸（株式会社不動産経済研究所調べ）となりましたが、購入需要については概ね底堅く推移しております。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、単身者を中心とした首都圏の賃貸需要は底堅く、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、堅調な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用としての多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」及びファミリーマンションの自社ブランド「ガーラ・レジデンスシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充にも積極的に取り組み、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高197億71百万円（前年同四半期比10.7%増）、営業利益18億33百万円（前年同四半期比16.5%増）、経常利益18億41百万円（前年同四半期比17.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11億80百万円（前年同四半期比25.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」、「ガーラ・レジデンスシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション299戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高137億74百万円（645戸）、ファミリーマンション売上高5億15百万円（12戸）、その他収入29億42百万円となり、不動産開発事業の合計売上高172億32百万円（前年同四半期比5.7%増）、セグメント利益13億47百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加等により、売上高9億66百万円（前年同四半期比11.1%増）、セグメント利益3億53百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

（建設事業）

建設事業は、外部受注の増加等により、売上高11億74百万円（前年同四半期比162.9%増）、セグメント利益60百万円（前年同四半期比11.9%減）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、既存旅館の集客が順調に推移したこと、及び株式会社玉峰館の連結子会社化等により、売上高3億97百万円（前年同四半期比64.6%増）、セグメント利益22百万円（前年同四半期比316.3%増）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業におけるマンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は444億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億71百万円増加いたしました。これは主に、仕掛販売用不動産が34億55百万円、販売用不動産が2億41百万円、受取手形及び営業未収入金が3億35百万円増加した一方、現金及び預金が9億65百万円減少したことによるものであります。固定資産は29億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億13百万円減少いたしました。

この結果、総資産は474億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億57百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は117億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億69百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が4億円、支払手形及び買掛金が1億62百万円、賞与引当金が1億43百万円増加したことによるものであります。固定負債は69億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億27百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が13億94百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は187億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億96百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は286億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億61百万円増加いたしました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益11億80百万円であり、減少は剰余金の配当2億3百万円であります。

この結果、自己資本比率は60.5%（前連結会計年度末は62.5%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14億37百万円減少し、70億10百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により支出した資金は24億72百万円（前年同四半期は54億15百万円の支出）となりました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益18億41百万円、前受金の増加額4億29百万円、仕入債務の増加額1億62百万円であり、主な支出は、たな卸資産の増加額38億10百万円、法人税等の支払額7億43百万円、売上債権の増加額3億35百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は5億53百万円（前年同四半期は4億1百万円の収入）となりました。主な支出は、定期預金の増加額5億33百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は15億88百万円（前年同四半期は19億23百万円の収入）となりました。主な収入は、事業用地の購入資金対応のための長期借入れによる収入42億円であり、主な支出は、長期借入金の返済による支出24億5百万円、配当金の支払額2億3百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月7日発表の予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,142 | 9,176 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 2,044 | 2,380 |
| 有価証券 | 3 | 3 |
| 販売用不動産 | 12,044 | 12,285 |
| 仕掛販売用不動産 | 16,236 | 19,691 |
| 未成工事支出金 | 13 | 100 |
| 原材料及び貯蔵品 | 18 | 22 |
| 前渡金 | 62 | 52 |
| 繰延税金資産 | 303 | 319 |
| その他 | 395 | 403 |
| 貸倒引当金 | △3 | △3 |
| 流動資産合計 | 41,260 | 44,432 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,369 | 1,380 |
| 減価償却累計額 | △573 | △616 |
| 建物及び構築物 (純額) | 796 | 764 |
| 土地 | 594 | 594 |
| その他 | 303 | 301 |
| 減価償却累計額 | △221 | △228 |
| その他 (純額) | 82 | 72 |
| 有形固定資産合計 | 1,473 | 1,431 |
| 無形固定資産 | 79 | 71 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 305 | 279 |
| 繰延税金資産 | 157 | 117 |
| その他 | 1,090 | 1,092 |
| 貸倒引当金 | △10 | △10 |
| 投資その他の資産合計 | 1,542 | 1,478 |
| 固定資産合計 | 3,095 | 2,981 |
| 資産合計 | 44,356 | 47,414 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,088 | 1,251 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 6,517 | 6,917 |
| 未払金 | 431 | 257 |
| 未払法人税等 | 675 | 571 |
| 未払消費税等 | 137 | 121 |
| 預り金 | 1,489 | 1,415 |
| 賞与引当金 | 140 | 284 |
| その他 | 516 | 948 |
| 流動負債合計 | 10,997 | 11,767 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,920 | 4,315 |
| 役員退職慰労引当金 | 726 | 689 |
| 退職給付に係る負債 | 309 | 317 |
| 長期預り敷金保証金 | 1,608 | 1,571 |
| 長期預り金 | 64 | 65 |
| その他 | 20 | 17 |
| 固定負債合計 | 5,650 | 6,977 |
| 負債合計 | 16,647 | 18,744 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,774 | 2,774 |
| 資本剰余金 | 3,054 | 3,054 |
| 利益剰余金 | 22,140 | 23,116 |
| 自己株式 | △289 | △289 |
| 株主資本合計 | 27,680 | 28,656 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 28 | 13 |
| その他の包括利益累計額合計 | 28 | 13 |
| 純資産合計 | 27,708 | 28,670 |
| 負債純資産合計 | 44,356 | 47,414 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 17,863 | 19,771 |
| 売上原価 | 13,348 | 14,728 |
| 売上総利益 | 4,515 | 5,042 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費 | 222 | 301 |
| 給料手当及び賞与 | 912 | 895 |
| 賞与引当金繰入額 | 242 | 275 |
| 退職給付費用 | 26 | 30 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 20 | 38 |
| その他 | 1,517 | 1,668 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,941 | 3,209 |
| 営業利益 | 1,574 | 1,833 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 2 |
| 違約金収入 | 18 | 33 |
| 助成金収入 | 2 | 1 |
| その他 | 3 | 6 |
| 営業外収益合計 | 26 | 43 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34 | 33 |
| その他 | 2 | 1 |
| 営業外費用合計 | 36 | 34 |
| 経常利益 | 1,564 | 1,841 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,564 | 1,841 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 565 | 630 |
| 法人税等調整額 | 58 | 31 |
| 法人税等合計 | 623 | 661 |
| 四半期純利益 | 940 | 1,180 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 940 | 1,180 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 940 | 1,180 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10 | △15 |
| その他の包括利益合計 | 10 | △15 |
| 四半期包括利益 | 950 | 1,165 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 950 | 1,165 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,564 | 1,841 |
| 減価償却費 | 50 | 85 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △0 | △0 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 123 | 143 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 24 | 8 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 20 | △37 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3 | △3 |
| 支払利息 | 34 | 33 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △448 | △335 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △4,612 | △3,810 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △903 | 162 |
| 前渡金の増減額 (△は増加) | △22 | 10 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | 145 | 429 |
| 預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少) | △24 | △36 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △52 | △23 |
| その他 | △83 | △166 |
| 小計 | △4,188 | △1,698 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3 | 3 |
| 利息の支払額 | △35 | △33 |
| 法人税等の支払額 | △1,195 | △743 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △5,415 | △2,472 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △10 | △14 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2 | △2 |
| 定期預金の増減額 (△は増加) | 411 | △533 |
| その他 | 3 | △3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 401 | △553 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 3,800 | 4,200 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,326 | △2,405 |
| リース債務の返済による支出 | △0 | △3 |
| 自己株式の取得による支出 | △274 | - |
| 配当金の支払額 | △275 | △203 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,923 | 1,588 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △3,090 | △1,437 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,622 | 8,448 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,532 | 7,010 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-------------|-------|------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 不動産 開発事業 | 不動産 管理事業 | 建設事業 | 旅館事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,305 | 869 | 446 | 241 | 17,863 | — | 17,863 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 4 | 175 | 696 | 5 | 882 | △882 | — |
| 計 | 16,310 | 1,045 | 1,143 | 247 | 18,746 | △882 | 17,863 |
| セグメント利益 | 1,194 | 323 | 69 | 5 | 1,591 | △17 | 1,574 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△17百万円には、セグメント間取引消去15百万円、
たな卸資産及び固定資産の調整額△33百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-------------|-------|------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 不動産 開発事業 | 不動産 管理事業 | 建設事業 | 旅館事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,232 | 966 | 1,174 | 397 | 19,771 | — | 19,771 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 2 | 188 | 20 | 8 | 220 | △220 | — |
| 計 | 17,235 | 1,155 | 1,194 | 406 | 19,991 | △220 | 19,771 |
| セグメント利益 | 1,347 | 353 | 60 | 22 | 1,783 | 49 | 1,833 |

(注) 1. セグメント利益の調整額49百万円には、セグメント間取引消去18百万円、
たな卸資産及び固定資産の調整額30百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。